

## 第1回科学技術振興支援委員会 議事録

日時：2019年7月22日（月） 16：00～18：10

場所：日本技術士会 機械振興会館 211 会議室

委員（□：出席、■：欠席）

□前田秀一（委員長、化学）、□野坂恵介（金属）、□小沼祐毅（農業）、■中原紀彦（金属）、  
□岡野利之（水産）、□井上護（衛生工学）、■池田友久（生物工学）、□黒澤兵夫（情報工学）、  
■西村丹子（原子力・放射線）、□布施浩一郎（応用理学）、□田中秀明（近畿、記録）、  
□谷口芳和（中部）、□大沼文男（北陸）

オブザーバー：丸山幸廣（電気電子、9月委嘱予定）

事務局：西村常務理事、関口担当部長、藤城主事

### 配付資料

資料1. 前回議事録（案）

資料2. 科学技術振興支援委員会委員名簿（2019-2020年度）

資料3. （参考）平成29年度の本委員会の活動内容及び体制について（案）

資料4. 2019-2020年度 科学技術振興支援委員会小委員会体制（案）

資料5. 小委員会委員長の委嘱について（案）

資料6. 実行委員会委員の継続再任期限の延長申請（案）

資料7. 第1小委員会報告

資料8. 第2小委員会報告

資料9. 第3小委員会報告

### 議事概要

#### 1. 委員長挨拶

- ・留任となる前田委員長より、出席委員ならびに事務局メンバーに対して挨拶が為された。

#### 2. 議事録の記録者選定

- ・田中委員（近畿）が指名された。

#### 3. 前回議事録の確認（資料1ページ）

- ・第1小委員会報告にある「令和元年度」に対して、4月案件だから「平成31年度」ではないかとの意見が出た。本年度より日本技術士会では西暦表記を採っていることから、当委員会議事録においてもこれに倣い、「2019年度」と表記することとする。

#### 4. 委員自己紹介（資料2ページ）

- ・欠席委員を除き、事務局メンバーも含めた全員から自己紹介が為された。

#### 5. 2019年度本委員会活動内容及び体制について（資料2ページ）

- ・委員の出身部会に偏りがあるが、委員会定員25名に対して現数は14名（56%）で、空き定員11を他の部会で埋めるとすれば問題無い。

#### 6. 各小委員会委員の委嘱（資料4ページ）（審議）

- ・各小委員会への委員の配属案を示す。未配属の新委員及び配属案とは異なる小委員会に移りたい委員は、速やかに事務局に希望の配属を申し出ること。

#### 7. 小委員会委員長の委嘱（資料5ページ）（審議）

- ・第1、第2及び第3小委員会の長として、野坂、岡野及び黒澤各委員に各々委嘱する。

#### 8. 副委員長の選任（審議）

- ・各部会の事情を考慮しながら調整し、委員会に諮った上で決めたい。当面は空位。

## 9. 委員の委嘱延長の申請について（資料6ページ）（審議）

- ・2期目までは委員長と各部会で調整の上、理事会に付議すればよいが、3期目以降は社会委員会、続いて理事会の承認を得る必要がある。
- ・丸山氏の3期目となる委員就任に関する理事会承認は9月となる見込みのため、丸山氏は7月、8月の委員会にはオブザーバーとしての参加ということになる。

## 10. 各小委員会報告

### (1)第1小委員会：野坂小委員長より報告（資料7～8ページ）

- ・昨年度は「講師か助手かに関わらず、申請は一人年間3回まで」を超えて誤申請する例が多かったが、今年度もチェック漏れなど、申請書に記載ミスが多い。
- ・今年度は、本日までに10件超の申請を受理。申請ペースは前年同時期より速い。
- ・資料7の誤記訂正：（誤）「ハバリウムランプ」→（正）「ハーバリウムランプ」
- ・理科教室と科学技術系イベントの境界をどのように考えるか？ 例えば、両者を統合して「理科教室+科学技術イベント」と「サイエンスカフェ」にすることも含めて要検討。
  - 定義や区分を変えるなら、会員に対して周知が必要
- また、文部科学省が提示する用語の定義と乖離するのは好ましくない。要調査。
- ・「防災」をテーマとする場合についても支援対象に含めるか？
  - 理科の学習指導要領に防災は含まれるので、対象に含めること自体は問題無いが、支援の“二重取り”を避けるべく、防災委員会（が行っている支援）との棲み分けを両委員長で調整・整理する方が良い。
- ・防災イベントと理科実験イベントとの間で準備の手間や経費に大差無い。何に対しての支援か？
  - 個人会員を対象としての、消耗品費用の支援と考えている。
- ・カテゴリーの再編等についてこの場では結論が出ないので、メール審議としたい。（委員長）

### (2)第2小委員会：岡野小委員長より報告

- ・サイエンスインカレコンソーシアム（SIC）参加報告（資料9～10ページ）
  - 次回第8回は、2020年2月29日（土）～3月1日（日）に立命館大学草津キャンパス（滋賀県草津市）で開催。運営受託会社は（株）マインドシェア。
  - SICには12の企業・団体が参加して、協賛金（ゴールド：30万円、プラチナ：300万円）を拠出。日本技術士会はゴールドで、会長賞の副賞は3万円（前々回までは1万円）。
  - 文科省は学生の交通費・宿泊費は負担するが、文科相賞の副賞などはSICの協賛金が原資。
    - 日本技術士会のPR活動費としての30万円。これ以上の上積みは考えていない。
    - 審査・授賞することで、技術士の認知度はどれだけ上がっているのか？ 今後、文科省の拡大路線に沿って協賛金の増額も検討される中、継続参加するか撤退するか、費用対効果を見据えつつ委員会で議論があってもよい。
  - 当日は、会場から地理的に近い近畿本部や中部本部の委員が中心になって動いていただきたい。
- ・サイエンスアゴラ報告（資料11～14ページ）
  - 6月20日頃に案内が届いた。6月末が応募〆切だったことから、委員会に諮らず、11月16日（土）午後もしくは17日（日）午前に出展希望として申請。会場はテレコムセンター。
  - 出展内容の詳細については、次回委員会以後に議論したい。
  - 8月上旬に審査結果が届く。審査を通過しておれば、8月末までに出展料金2万円を納入。9月にネット広報用の原稿を提出。

### (3)第3小委員会：黒澤小委員長より報告（資料15ページ）

- ・ホームページにサイエンスインカレ2019の参加報告書を掲載予定。入稿待ち。
  - 事務局に提出済みのはずだが、再確認する。
- ・関東甲信県支部間の理科支援活動情報共有会
  - 6月11日（火）開催。コンテンツの共有、理科教室の普及策などについて議論。
  - 次回は8月下旬を予定。
- ・第4回理科実験事例発表大会について、そろそろ検討を始めたい。

## 11. 次回以降の開催予定

- ・8月26日（月） 16:00～18:00 機械振興会館 211会議室
- ・9月30日（月） 16:00～18:00 機械振興会館 211会議室

## 第2回科学技術振興支援委員会 議事録

日時：2019年8月26日（月） 16：00～18：10

場所：日本技術士会 機械振興会館 211 会議室

委員（□：出席、■：欠席）

□前田秀一（委員長、化学）、□野坂恵介（金属）、□小沼祐毅（農業）、■中原紀彦（金属）、  
□岡野利之（水産）、□井上護（衛生工学）、□池田友久（生物工学）、□黒澤兵夫（情報工学）、  
■西村丹子（原子力・放射線）、■布施浩一郎（応用理学）、□田中秀明（近畿 WEB）、  
□谷口芳和（中部 WEB）、□大沼文男（北陸、記録）

オブザーバー：丸山幸廣（電気電子、9月委嘱予定）、佐藤理英（化学、9月委嘱予定）

事務局：関口担当部長

### 配付資料

資料1．前回議事録（案）

資料2．2019-2020年度 科学技術振興支援委員会小委員会体制

資料3．S I C会員向けアンケート

資料4．第1小委員会報告

資料5．第2小委員会報告

資料6．第3小委員会報告

### 議事概要

1. 委員長挨拶、議事録の記録者選定
  - ・前田委員長の挨拶のあと、記録者として大沼委員（北陸）が指名された。
2. 前回議事録の確認（資料1～2ページ）
  - ・第3小委員会の報告について、「第3回理科実験」を「第4回理科実験」に訂正の上、前回の議事録は了承された。
3. 本委員会における小委員会体制について（資料3ページ）
  - ・第2小委員会に谷口委員（中部）、大沼委員（北陸）が入ることが了承された。
  - ・委員長からは、「第1小委員会、第3小委員会の人数が少ないので、新たに委嘱される委員には、いずれかに入ってもらいたい。副委員長は空席であるが、委員がそろった段階で決めていきたい。」との意向が示された。
4. サイエンスインカレの支援等に関するアンケート報告（事務局）（資料4～5ページ）
  - ・サイエンスインカレ（SIC）運営事務局からのアンケート調査に対する回答の期限が短かったため、委員会に諮らず、委員長と事務局で協議し回答し、第2小委員会には事後報告した旨、及びアンケート調査に対する回答内容について説明がされた。
  - ・技術士会としては、現状の30万円が限度であること、収入の減少があるのであれば、収入の範囲内での事業の実施が基本であることなどを回答したとの説明あり。
  - ・質問3の回答の中で、OB、OG活動費用についての質問が出たが、活動費用は100万円、SIC全体の経費の約1割弱との説明がされた。
  - ・SICは、企業のリクルートの場となっており、企業のメリットにはなっているが、技術会は少し立場が違う等の意見あり。
  - ・SICの総会が11月に行われることから、技術士会として意見があれば、その場で述べるができるとの説明あり。
  - ・SICに対する意見がいくつか出されたが、総会で述べるべきものか疑義があり、総会での発言については、内容を委員会で確認した後に行うこととされた。
5. 各小委員会報告
  - (1) 第1小委員会：野坂小委員長より報告（資料6～14ページ）
    - ・理科教室、サイエンスカフェ等支援事業の受付件数が、前回委員会より5件増加し、15件となったとの報告があった。また、以前報告した受付No. 3、No. 10の講座で、補助者に誤りが

あったことが合わせて報告された。

- ・近畿地区会員から、「講師が非会員で、補助員が会員の場合、理科支援活動の申請は可能か」との問題提起があった。この制度は、会員が理科支援活動を行った際に経費を一部負担するという会員支援の制度であり、講師が非会員では、制度の趣旨と異なる等の意見も出たことから、次回の委員会へ協議は持ち越しとなった。

(2) 第2小委員会：岡野小委員長より報告（資料15～21ページ）

- ・サイエンスアゴラ 2019 のシンポジウムの企画応募の内容について報告された。
- ・昨年度のをベースに応募したところ、8/16 に採択され、8/21 に承諾する旨をサイエンスアゴラの事務局に提出したとの説明あり。具体的な内容は今後検討することとなるが、11/16（土）、テレコムセンターで行うことになったとの報告あり。
- ・第2小委員会から、本日検討したい具体的な内容は、シンポジウムの対象、基調講演の演者、パネラーの選出方法などと説明があった。
- ・シンポジウムの対象としては、大学生、子供、一般全般、技術士が挙げられたが、最終的に学生とすることが決定された。
- ・基調講演のテーマ、講演者、パネリストの選定方法等について種々の意見が出されたが、決定に至らず。サイエンスアゴラ 2019 の公開情報と英語表記の登録が8月末とされていることから、第2小委員会で検討した内容で登録することとし、事後承認とすることとされた。
- ・9/27、テレコムセンターで出展者の説明会が予定されており、丸山オブザーバーと井上委員が出席し対応することとされた。
- ・委員長から、次回の委員会で、来年度のサイエンスアゴラへの参加形式を協議する旨の予定が示された。

(3) 第3小委員会：黒澤小委員長より報告（資料22～27ページ）

- ・第4回理科実験事例発表大会の案内（案）について提案、協議がされた。修正意見等は特になく、原案のとおり、開催日は11月25日（月）、場所は機械振興会館、想定人数60名が入る会議室を事務局が確保することで、了承された。

6. 次回の開催予定

- ・9月30日（月） 16：00～18：00 機械振興会館 211 会議室

以上

### 第3回科学技術振興支援委員会 議事録

日時：2019年9月30日（月） 16:00～18:10

場所：日本技術士会 機械振興会館 211 会議室

委員（□：出席、■：欠席）

□前田秀一（委員長、化学）、□丸山幸廣（電気電子）、□佐藤理英（化学、記録）、□野坂恵介（金属）、

■小沼祐毅（農業）、■中原紀彦（金属）、□岡野利之（水産）、□井上護（衛生工学）、

□池田友久（生物工学）、□黒澤兵夫（情報工学）、■西村丹子（原子力・放射線）、

■布施浩一郎（応用理学）、□田中秀明（近畿 WEB）、■谷口芳和（中部 WEB）、■大沼文男（北陸）

事務局：関口担当部長

配付資料

資料1． 前回議事録（案）

資料2． 科学技術振興支援委員会名簿（2019-2020 年度）

資料3． 2019-2020 年度 科学技術振興支援委員会小委員会体制

資料4． 第1小委員会報告

資料5． 第2小委員会報告

資料6． 第3小委員会報告

議事概要

#### 1. 委員長挨拶、議事録の記録者選定

- ・前田委員長の挨拶の後、記録者として佐藤委員(化学)が指名された。

#### 2. 前回議事録の確認(資料1～2 ページ)

- ・前回の議事録は、第4回理科実験事例発表大会が実施される11/25(月)の午前中に第5回委員会を実施することを確認した上で、修正なしで了承された。

#### 3. 本委員会における小委員会体制について(資料3～4 ページ)

- ・前田委員長より、佐藤委員は、暫定として第2小委員会に所属しているが、第3小委員会の人数が少ないので、第3小委員会に所属することを検討したい。次回委員会で承認いただく。
- ・副委員長は、委員がそろった段階で決定する。

#### 4. 各小委員会報告

##### (1)第1小委員会（野坂小委員長）（資料5～11 ページ）

- ・今回、No.16 が新たに承認された。主催者が「若手技術士の会」と会員技術士で実施されたものであるが、学校関係者等の関与が不明ということで取扱いを確認された。対象が小学生ということで、特に問題はないものとして委員会で確認された。
- ・元号が変更になったことをきっかけとして、理科支援活動の支援申請書および実施報告書の変更および修正を行った。実施報告書に「補助者」の欄を追加することとした。

##### (2)第2小委員会（岡野小委員長）（資料12～27 ページ）

- ・丸山委員より、サイエンスアゴラ2019の出展者説明会の参加報告がなされた。
- ・会場は、テレコムセンタービル8Fの会議室Bで、机が全く無い会議室。パネリストとプロジェクター設置用に、W1800×D600×H730のテーブル3脚を借用する。借用費(¥3,520×3)がかかることについては事務局に了承された。
- ・マイクは、会場備え付けのもの(ワイヤレスハンドマイク2本、ワイヤレスピンマイク1本)で運用する。マイクの追加費用が高額(30,000円)のため、マイクの追加はしない。
- ・電源用テーブルタップは、技術士会のものを使用する。
- ・宅配便は、クロネコヤマト指定で事務局より発送する。
- ・技術士会側のパネリスト2名が未決定なので、委員会終了後に、第2小委員会の委員で候補

を絞ることとした。次回委員会で承認いただく。

- ・委員長より、来年度以降のサイエンスアゴラの出展形式をブースで実施する場合は、科学技術振興支援委員以外の技術士会会員にも声をかけて、ワーキンググループ形式で進めてはどうか、という提案がなされた。
- ・サイエンスインカレについては、11月の技術士会総会では言及しないこととした。

(3) 第3小委員会（黒澤小委員長）

- ・第4回理科実験事例発表大会について、プログラム案は了承された。
- ・別の委員会で、地方支部とのスカイプ中継がうまくいかない事例があった。パワーポイントのプレゼンテーションをそのまま共有で実施したためと思われる。発表者は、事前にカメラ操作等を試行して戴く旨伝え、日程等を調整（当日のAM等）して戴く。なお、交通費等が発生する場合は事務局へ連絡する。

5. 次回の開催予定

- ・10月21日（月） 16:00～18:00 機械振興会館 211会議室

以上

## 第4回科学技術振興支援委員会 議事録

日時：2019年10月21日（月） 16：00～18：20

場所：機械振興会館 211 会議室

委員（□：出席、■：欠席）

□前田秀一（委員長、化学）、□丸山幸廣（電気電子）、□佐藤理英（化学）、□野坂恵介（金属）、  
□小沼祐毅（農業）、■中原紀彦（金属）、□岡野利之（水産）、□井上護（衛生工学）、  
□池田友久（生物工学）、□黒澤兵夫（情報工学）、■西村丹子（原子力・放射線）、  
□布施浩一郎（応用理学、記録）、□田中秀明（近畿 WEB）、□谷口芳和（中部 WEB）、  
□大沼文男（北陸 WEB）

事務局：関口担当部長

配付資料

資料1． 前回議事録（案）

資料2． 第1小委員会報告

資料3． 第2小委員会報告

資料4． 第3小委員会報告

議事概要

### 1. 委員長挨拶、議事録の記録者選定

- ・前田委員長の挨拶の後、記録者として布施委員（応用理学）が指名された。  
前回委員会で委員長から提案があった佐藤委員の所属については、第3小委員会でお願  
したいとの話がありました承された。

### 2. 前回議事録の確認

- ・野坂小委員長および黒沢小委員長から修正依頼あり。事務局より修正箇所を明示して修正  
された文書がメールで配信済み。前回の議事録は、修正案が了承された。

### 3. 各小委員会報告

#### (1) 第1小委員会（野坂小委員長）

- ・先月は、No17, 18, 19 の3件が新たに承認された。No19 の加藤さんは、遠隔地に出向き説明  
会を実施。対象者も小中学生および身障者と幅広い。これは技術士会の特徴を生かせるので  
はないかと感じた。
- ・前回の委員会で HP 掲載の「支援申請書」等の様式が承認され、黒沢小委員長へ様式の差し  
替えを依頼したが、HP 本文が前期のままなので、本文案を見直してほしいとの要望があり、  
理科教室の支援件数等を修正したものを提示し承認された。
- ・今後、HP の文書については、年度初めに見直しを実施し、HP には5月から掲載するよう  
にする。

#### (2) 第2小委員会（岡野小委員長）

- ・サイエンスアゴラのパネリストが決定した。
- ・チラシは佐藤委員が担当され、化学部会で作成したチラシについて以下の件があった。
  - 裏面にプログラムや登壇者の名前および開催場所の地図を入れた方がよい。
  - チラシに書かれている「予約不要」は、「当日受付可」とか「飛び込み受付可」とした方が  
よいとの意見があり、「入退室自由・参加費無料」などとし、予約には触れないこととした。
  - 「SDG」とは何かわからない人が多いのではないかとの意見があったが、パネルディスカッ  
ションの冒頭でパネリストに説明してもらうことで理解されると判断した。
- ・委員長より、来年以降のイベント形式について、ブース形式にする場合は、ワーキンググル  
ープ形式にして、積極的に賛同する会員の方々を巻き込むことも検討し、ワーキンググル  
ープ設置の手続き等については、今後、事務局（西村常務）と相談していくこととするとの話  
があった。
- ・HP へのチラシの掲載を、黒沢小委員長に依頼する。さらに委員が所属する各部会へもサイエ  
ンスアゴラを紹介してほしい旨の意見があった。

- ・サイエンスアゴラ当日の予定は、次のとおり。  
14:00 8FB 会議室に直接集合。名札はその際に渡す。  
14:40 受付開始(3)第3小委員会(黒澤小委員長)
  - ・第4回理科実験事例発表大会について、受付は前田委員長、野坂小委員長、関口部長の3名とする。  
また、懇親会の司会は、現時点では西村委員とする。
  - ・承認済みプログラムについては、委員会のHPに掲載する。
  - ・当委員会の情報管理者は、黒澤小委員長となっており、10月22日より、同報メールの使用が可能になる。
  - ・理科実験事例発表大会予定は次のとおり。
- 11/19に名簿を事務局に送付。配付資料の印刷を事務局が行う。  
○11/21までに領収書を2種類作成する。(理科実験事例発表大会用と交流会用)  
○11/22(当日)の概要は次のとおり。
- i) 資料の袋詰めは、基本的に当日行う。
  - ii) 委員会は11時から30分間で行う。(サイエンスインカレの報告あり)
  - iii) 会場・受付準備は、12時～12時15分。受付は、12時15分に開始する。
  - iv) 講師用ペットボトルを用意する。(事務局)
  - v) 交流会の会費は、1,000円とする。

#### 4. その他

- ・SICアンケート回答集計結果について  
丸山委員より、SICアンケート回答集計結果について報告があった。
- ・ホームページ 最新化について  
小沼委員より、9月18日の部会長会議資料「各部会のHP内容見直しのお願ひ」が配付された。  
部会同様に当委員会のホームページの作成時の参考になるとのコメントがあった。

#### 今後の開催予定

- サイエンスアゴラ 2019  
11月16日(土) 14:40～16:30 テレコムセンタービル8階 会議室B
- 科学技術振興支援委員会  
11月25日(月) 10:00～12:00 機械振興会館6階67会議室
- 第4回理科実験事例発表大会(委員会と同日開催)  
11月25日(月) 13:00～16:45 機械振興会館6階67会議室  
(交流会) 17:00～18:30 // 2階211会議室

以上



## 第5回科学技術振興支援委員会 議事録

日時：2019年11月25日（月） 10：00～11：00

場所：機械振興会館 6階 6-67 会議室

委員（□：出席、■：欠席）

□前田秀一（委員長、化学）、□丸山幸廣（電気電子）、■佐藤理英（化学）、□野坂恵介（金属）、  
□小沼祐毅（農業）、■中原紀彦（金属）、■岡野利之（水産）、□井上護（衛生工学）、  
■池田友久（生物工学）、□黒澤兵夫（情報工学）、□西村丹子（原子力・放射線、記録）、  
□布施浩一郎（応用理学）、□田中秀明（近畿 WEB）、■谷口芳和（中部 WEB）、□大沼文男（北  
陸 WEB）

事務局：関口担当部長

配付資料

資料1． 前回議事録（案）

資料2． 2019-2020年度 科学技術振興支援委員会小委員会体制

資料3． 第1小委員会報告

資料4． 第2小委員会報告

資料5． 第3小委員会報告

議事概要

1. 委員長挨拶、議事録の記録者選定
  - ・前田委員長の挨拶の後、記録者として西村委員（原子力・放射線）が指名された。
2. 前回議事録の確認（資料1）
  - ・前回議事録案は、修正なしで了承された。
3. 本委員会における小委員会体制について（資料2）
  - ・佐藤委員が第3小委員会所属となったことについて資料が提示された。
4. 各小委員会報告
  - (1) 第3小委員会（黒澤小委員長、資料5）
    - ・本日の理科実験事例発表大会のスケジュール等について説明があった。
    - ・理科実験事例発表大会に出席する委員からの参加費徴収要否については、委員会共通の規則はなく各委員会で議論して決めるとの事務局回答を受け、本日を含め今後は徴収しないこととした。なお、これまで参加費を徴収してきた経緯次第で、徴収が必要な場合は事務局から改めて連絡することとなった。なお、交流会費は従前どおり徴収する。
    - ・当委員会の情報管理者には黒澤小委員長、丸山委員の2名が登録されているが、ホームページの作成及び修正、CPD 行事予定の WEB 掲載、同報メールの発信を行なう情報管理者は黒澤小委員長とする。ただし、状況によっては黒澤小委員長が丸山委員に代行を依頼する場合がある。
  - (2) 第2小委員会（（岡野小委員長代理）井上委員、丸山委員、資料4）
    - ・井上委員より、11月16日（土）にテレコムセンターにて開催されたサイエンスアゴラ 2019 には38名（技術士は25名）が参加し、「SDGs を技術者として考える」をテーマに、6名のパネリスト（理工系学生3名と技術士3名）と参加者を交えて活発な意見交換が行われたことが報告された。
    - ・丸山委員より、11月20日に開催されたサイエンス・インカレ・コンソーシアム（SIC）令和元年度第1回総会の議事概要について次の報告があった。  
第9回サイエンスインカレが2020年2月29日～3月1日に立命館大学びわこ・くさつキャンパスにて実施される。今回から高校生の参加が認められた。これまで日本技術士会賞の審査対象は大学生の口頭発表のみであり、高校生を含めるかについては本委員会にて検討する必要がある。  
また、第10回大会以降のSIC 会員区分検討案が2案提示され、その他の案があれば併せて次回のSIC 第2回総会で議論することになった。

・事務局より、第9回サイエンスインカレ会場で配付するプレス原稿案が提示され了承された。

(3) 第1小委員会（野坂小委員長、資料3）

・前回の委員会後に追加された案件はNo20、No21の2件。

5. その他

・次回の開催予定

12月23日（月）16時00分～18時00分

(2020年)1月20日（月）16時00分～18時00分

以上